長野県出資等外郭団体改革状況検証シート

(公益・特別法人用)

【対象決算年度:令和4年度】

1 団体の概要

団 体 名 (所在地)	長野県道路(長野市大		公社 P南長野字幅下667番地6 長野県土木センター4階)					代表者	理事長	: 関 昇一郎	
設立根拠	地方道路公社法			設立年	昭和47年			県所管部局 (課)	建設部	(道路建設課	.)
設立の沿革			設立目的(寄付行為·定款上)								
・昭和46年6月定例県議会において長野 県道路公社設立について決議 ・昭和47年9月建設大臣から長野県道路			長野県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕、その他管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。								
公社設立認可を受	がけ設立		具体的な事業内容								
				有料道路の維持管理(3路線供用中) 							
						9, 809	H30	3, 157, 906	R1	3, 062, 729	
			料金収力	120120		1, 716	R3	1, 433, 840		533, 244	
			交通量	実績H	29 12, 17	6, 373	H30	11, 379, 242	R1	10, 810, 063	
) F	7, 32	3, 956	R3	6, 284, 387	R4	5, 298, 273	
基本財産(円) 17,80	0,344,000	うち県の出 捐額(円)	17,800,	344,000	県出捐率	100	%	主な出捐者・	出捐額	[(円)∙出捐率	(%)

*役職員数は各年度当初現在

	年	度		H31(R1)	R2	R3	R4
		常		2	1	2	1
	役 員 数		うち県職員	1	1	1	1
役	仅 貝 奴	非 '	常勤	4	4	4	5
職			うち県職員	4	4	4	5
		常	勤	6	6	6	5
員	職員数		うち県職員	3	3	3	2
数		非 '	常勤	21	21	17	14
	常勤	助職員計		8	7	8	6
	非常勤職員計		25	25	21	19	
	県職員計(非常勤役員	除く)	4	4	4	3

*次表は令和4年度の状況で、()内は令和3年度

(単位:千円、%)

Ī	1/2	経常収益(A)		547,300 (1,521,892					補助金	0	(0)
	益等	経常費用(B)		((1,509,295)	県	事業費	0	(0)		
	状	経常損益 (A)-(B)		△ 242,421			(12,597)		運営費	0	(0)
	況	当期損益			0		(0)	費	交付金	0	(0)
	財	公益事業比率	100.0	(100.0)	正味財産比率	50.1	(31.4)	552	負担金	911	(880)
	務	経常比率	69.3	(100.8)	流動比率	13,222.9	(3,740.9)	受	委託料	0	(0)
	· 次	人件費比率	12.0	(8.8)	固定比率	155.3	(292.3)	入	貸付金	0	(0)
	資 産	管理費比率	30.9	(26.6)	固定長期適合率	154.8	(291.5)	状	出捐金	0	(0)
	関	事業支出伸び率	△ 53.3	(△29.4)	借入金依存率	0.0	(0.0)		損失補償年度	0	(0)
	係 指	補助金等比率	0.0	(0.0)				況	末残高	U	(0)
	標								人件費関係費 用(再掲)	0	(0)

民間(NPO含む)との競合状況

▶・道路整備特別措置法に基づく一般有料道路事業は、同法の規定により高速道路会社以外の民間はできない。

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針 団体の廃止(平成38年度(令和8年度)、事業期限到来時)

	改革基本方針		実 施 状 況
実施年月		実施年月	
平成38年度末	団体の廃止 廃止までの間、効率的な維持管理に努めるととも に、利用増加等を図るものとする。	平成15年度	建設工事・委託業務について、受注希望型競争入札の導入ホームページへの経営情報の登載県派遣職員を減員し、プロパー職員の重用や県OB職員の採用料金徴収業務等委託契約の一般競争入札への移行 前年度の決算状況等を踏まえ毎年5月に長野県道路公社経営計画を改訂
		11410-4-07	是四五社社占时间と以 的

経営計画等の策定状況

令和5年5月 長野県道路公社経営計画を改訂

情報公開の取組状況

- 長野県道路公社情報公開規程及び同実施細則により公開
- ・ 事業内容及び決算等をホームページで公表

監査等結果

〇令和3年度財政的援助団体監査

検討事項 有料道路無料開放に伴う財産処分

今後、有料道路の無料開放に伴い公社の保有する有形固定資産(道路の附属物を除く。)を処分する場合は、 有償での譲渡が可能か検討の上、処分方針を決定してください。

団体の課題等

[団体記載欄]

1 経営方針

公社が管理する有料道路の維持管理を適切に行い、安全で 快適な道路サービスの提供に努めるとともに、料金等の収入 の確保とコスト削減、利用者へのサービス向上等に取り組む。

- 2 県出資金の返還 返還方法が確定していない路線について、県と協議を進める。
- 3 一般道路化に向けた計画的な維持改良 全路線の一般道路化に向け県、関係機関との調整を進める
- とともに、維持改良を計画的、効率的に実施する。 4 団体の廃止に伴う諸課題の検討
- 団体の廃止に向けて、職員体制、財産処分等の諸課題について検討を進める。

[県記載欄]

・令和4年度評価対象年度においては、料金収入が増収となったものの、 新和田トンネルの無料開放に伴う事業精算のため、単年度収支は赤字と なった。一方で、中長期経営計画を策定しており、借入金は令和3年度で償 還済である。

・令和8年度の事業期限までの間、効率的な維持管理に努めるとともに利用者の増加等を図り、引き続き経営改善に取り組むことが必要である。また、それまでの間の安定した経営のため、道路公社との協議を進めている。

・新和田トンネルの一般道路化(令和4年4月)により、維持管理する路線は北信3路線となっており、全路線の一般道路化に向けた調整、県出資金の返還方法、団体の廃止に伴う諸課題について、道路公社との協議を進めていく。

【財務の状況】(道路公社用)

団体名:長野県道路公社

① 収支計算書 (単位:千円)

				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	収入の部(経常収益)						
	うち業務収入(A)		務収入(A)	1,854,635	1,436,584	535,824	
		うち道路料金収入		1,851,716	1,433,840	533,244	
		う	ち業務雑収入	2,919	2,744	2,580	
		うち業	務外収入(B)	12,982	85,308	11,476	
		う	ち利息収入	10,074	15,240	9,133	
収		う	ち雑収入	2,908	70,068	2,343	
10		収入計	†(C)=(A)+(B)	1,867,617	1,521,892	547,300	
支	支出の部(経常費用)						
၈		業務支出 (D)		1,891,472	1,334,720	623,086	
0)	'	う	ち維持改良費	1,419,901	933,260	379,057	
状		5	ち業務管理費	366,114	297,090	161,886	
況			うち給料手当	76,115	56,313	38,532	
776		う	ち一般管理費	105,457	104,370	82,143	
			うち役員報酬	0	0	0	
			うち給料手当	76,922	76,305	56,042	
	業務外支出(E)		卜支出 (E)	341,697	174,575	166,635	
		う	ち借入金返済支出	75,774	41,811	0	
		支出記	計 (F)=(D)+(E)	2,233,169	1,509,295	789,721	
	収支差額(経常損益)(G)=(C)-(F)			△ 365,552	12,597	△ 242,421	

② 貸借対照表

			令和2年度	令和3年度	令和4年度
	流重	协資産	6,706,112	4,887,293	7,925,517
		うち現金預金	6,616,301	4,834,159	7,895,748
	固定資産		53,602,413	54,372,602	27,638,543
資		基本財産	47,739,077	47,739,077	25,166,757
只		うち土地	47,739,077	47,739,077	25,166,757
		うち投資有価証券	0	0	0
産		特定財産	0	0	0
圧		うち退職給与引当資産	0	0	0
		うち減価償却引当資産	0	0	0
		その他の固定資産	5,863,336	6,633,525	2,471,786
	資產	全合計	60,308,525	59,259,895	35,564,060
	流動負債		537,220	130,645	59,938
		うち短期借入金	41,607	0	0
負		うち未払金	493,609	129,166	59,059
	固定	2負債	49,885	51,340	52,711
債		うち長期借入金	0	0	0
惧		うち退職給与引当金	49,885	51,340	52,711
	特別	川法上の引当金等	40,324,605	40,479,330	17,651,067
	負債	養合計	40,911,710	40,661,315	17,763,716
:/27	資本	金	19,396,815	18,598,580	17,800,344
資		うち基本財産	19,396,815	18,598,580	17,800,344
本		うち特定資産	0	0	0
	資本	本合計	19,396,815	18,598,580	17,800,344
負債	及び	資本合計	60,308,525	59,259,895	35,564,060